
岐阜県立恵那農業高等学校

学 校 長 長縄 正治

学校住所 岐阜県恵那市大井町2625番地の17 電話 0573-26-1251

1 会議の名称 恵那農業高等学校評議員会（平成27年度 第2回）

2 会議の構成

委 員	井上 守	岐阜県立園芸アカデミー 准教授
（敬称略）	岡庭 隆	岡庭税理士事務所
（五十音順）	小木曾 悟	地域住民代表

学 校 側	長縄 正治	校長
	今瀬 浩	教頭
	大野 勲	事務長
	柳原 博之	農場長
	遠山 守幸	教務主任
	丹羽 建一	生徒指導主事
	森本 達雄	進路指導主事
	吉村 和倫	特別活動部長

3 会議の目的

学校が地域住民の信頼に応えて、家庭や地域と連携を図りながら充実した教育活動を展開するため、校長が行う学校運営等に関し学校外の有識者の参加を得て幅広く意見を聞き、必要に応じて助言を求めて開かれた学校づくりを推進する。

4 会議の開催

平成28年1月29日（金）

15:30～16:30

恵那市文化センター 会議室

委員3人と学校側8人が出席

5 会議の概要

- 1 課題研究発表会見学
- 2 校長挨拶
- 3 課題研究発表会の感想及び意見
- 4 学校説明（近況報告、本年度の自己評価）
- 5 校長謝辞

6 感想及び意見・要望（項目別）

【学校運営全般】

・アンケートで「入学してよかった」と答える生徒の割合が非常に高い。生徒の理解を高めるための努力、可能性を引き出すための努力がよくなされていると思われる。さらに生徒を伸ばすことを考えていってほしい。

・恵那市の旧串原村は山間の地域であるが、人口が微増している。現在は建物を木造で10階建てまで建てられる。国土強靱化政策と相まって、木材の産出増加・林業の復活につながる可能性もある。今後も森林についての取り組みを推し進めていってほしい。

・選挙権が18歳以上になることとも関連するが、社会で人と交わるときに必要な一般教養、特に政治や経済に関することを、家庭とともに学校でも身に付けさせてほしい。

【学習指導・課題研究発表会】

・ポスター発表は、地域の問題解決について具体的事例を挙げて説明されており、地域とともに考えていこうという姿勢が伝わってきた。

・ポスター発表では、生徒が積極的に説明しようとする姿勢が見られた。

・説明する生徒は、自分の言葉で話すことができおり、理解がなされていた。

・ステージ発表は、へぼについての発表に興味を持った。タンパク源として昆虫を食べることは意外にも海外で評価されており、そういったことが、若い人が関心を持つことにつながるのではないか。

・ステージ発表では、へぼについての発表が印象に残った。私たちの世代は昆虫を食べた思い出があるが、この地域に受け継がれてきたへぼ文化が若い世代に伝わっていない。そういった意味でも興味深い発表であった。

・フラワーアレンジメントのデモンストレーションは、新たな試みで良かったが、ショーとして見せる工夫や、花についてももう少し専門的な説明がされるとよい。

・全般的にレベルの高い発表であったが、発表の仕方の指導が必要なものもあった。もっと誇りをもって力強くアピールできるとよい。

・五平うどんの発表も個性が感じられてよかった。

【身なりやマナー】

・本日の来賓との応対を見ていると、挨拶やお礼がしっかりとできている。地域の人たちと関わり合うことで、コミュニケーション能力も自然についているのではないかと感じる。

・子供たちは、年齢が上がるにしたがってあいさつができなくなってくる。大人の姿勢も大切なのではないかと感じる。

・高校生は周りに左右されやすい年代でもある。尊敬できる人、こうなりたいと思える人が周囲にいることが大切である。

・専門の分野について、高い専門性を追究していくことは大切だが、それと併せて基礎的な知識や社会常識についてもきちんと身に付けさせる必要がある。

7 会議のまとめ

学校評議員の皆様からは、授業参観と本校マニフェストをもとに、本校に関する貴重なご意見をいただきました。地域と連携した学校を目指して、今後の学校運営に一層の努力をしていきたいと思っております。